

■コメント

1. インフルエンザ

定点当り1.22人と増加し、流行開始の目安とされている定点当り1.00人を超えました。調査開始以来（1982/83シーズン以降）最も早い流行開始です。まだ報告数は少なく、地域によっても差がありますが、今後も増加すると予想されますので、今後の動向に注意してください。予防のためには予防接種を受けることが有効です。早めに受けることをおすすめします。

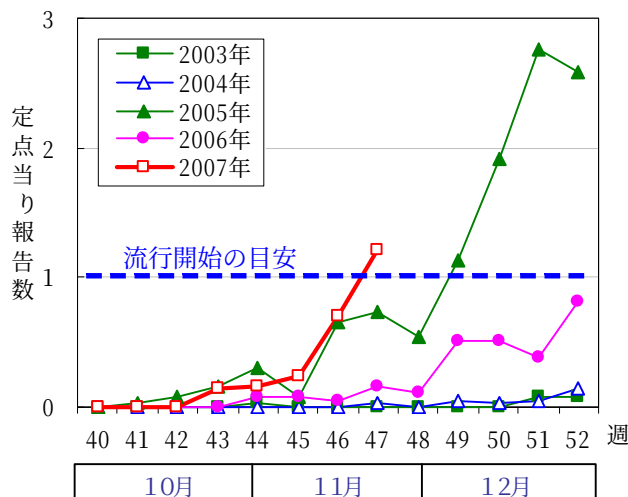
2. 咽頭結膜熱

定点当り1.08人と増加しており、この時期としては多くなっています。中区5.0人、安芸区2.5人と特に多くなっています。

3. 感染性胃腸炎

定点当り10.6人とやや増加しています。安芸区では22.5人と特に多く、中区14.7人、安佐北区14.0人、佐伯区11.0人となっています。

インフルエンザ



■5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1間)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1間)	発生記号
インフルエンザ(注2)	45	1.22	0.27	▲	麻疹(注3)	-	-	-	□
咽頭結膜熱	26	1.08	0.13	□	流行性耳下腺炎	-	-	1.14	□
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	1.08	1.53	□	RSウイルス感染症	1	0.04	0.45	□
感染性胃腸炎	255	10.63	12.97	□	急性出血性結膜炎	-	-	-	□
水痘	25	1.04	2.14	▲	流行性角結膜炎	1	0.13	0.90	□
手足口病	4	0.17	0.36	□	細菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	□
伝染性紅斑	2	0.08	0.22	□	無菌性髄膜炎	-	-	0.14	□
突発性発しん	13	0.54	0.54	□	マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.29	□
百日咳	2	0.08	0.06	□	クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	□
風しん	-	-	0.01	□	成人麻疹	-	-	-	□
ヘルパンギーナ	-	-	0.04	□					

急増減 ▲ 前週と比較しておおむね1.2以上の増減

増減 ▲ 前週と比較しておおむね1.15～2の増減

微増減 □ 前週と比較しておおむね1.11～1.5の増減

横ばい □ ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

注1) 過去5年間 (RSウイルス感染症は3年間の同時期平均(定点当り))
注2) 鳥インフルエンザを除く
注3) 成人麻疹を除く
注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	2	154	男性 80歳代)・1人、女性 80歳代)・1人
4	つつが虫病	2	7	男性 60歳代)、男性 70歳代)
5	アメーバ赤痢	1	7	男性 30歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	16	男性 20歳代)・無症候

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

			A群溶血性レンサ球菌咽頭炎																				クラミジア肺炎 (注3)		成人麻しん													
			インフルエンザ (注1)		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳		風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (注2)		流行性耳下腺炎		RSウイルス 感染症		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎		クラミジア肺炎 (注3)		成人麻しん	
報告数	広島市	第43週	5	3	21	118	17	3	4	20	-	-	-	-	6	2	-	3	-	1	2	-	-															
		第44週	6	6	23	168	19	1	1	15	-	-	5	7	7	-	2	-	-	3	-	-																
		第45週	9	21	34	172	24	4	1	13	-	1	2	1	-	1	2	-	-	-	-	-																
		第46週	26	18	26	228	45	5	-	15	1	-	3	2	2	1	7	1	-	3	-	-																
		第47週	45	26	26	255	25	4	2	13	2	-	-	-	1	-	1	1	-	3	-	-																
定点当り	広島市	第43週	0.14	0.13	0.88	4.92	0.71	0.13	0.17	0.83	-	-	-	0.25	0.08	-	0.38	-	0.14	0.29	-	-																
		第44週	0.16	0.25	0.96	7.00	0.79	0.04	0.04	0.63	-	-	0.21	0.29	-	-	0.25	-	-	0.43	-	-																
		第45週	0.24	0.88	1.42	7.17	1.00	0.17	0.04	0.54	-	0.04	0.08	0.04	-	0.13	0.25	-	-	-	-																	
		第46週	0.70	0.75	1.08	9.50	1.88	0.21	-	0.63	0.04	-	0.13	0.08	0.08	0.13	0.88	0.14	-	0.43	-	-																
		第47週	1.22	1.08	1.08	10.63	1.04	0.17	0.08	0.54	0.08	-	-	-	0.04	-	0.13	0.14	-	0.43	-	-																
	全国	第45週	0.50	0.17	1.52	5.68	0.97	0.52	0.15	0.66	0.03	-	0.16	0.01	0.32	0.02	0.65	0.03	0.03	0.40	0.03	0.01																
		第46週	0.94	0.18	1.50	7.32	1.18	0.48	0.15	0.63	0.03	-	0.12	0.01	0.30	0.02	0.64	0.02	0.02	0.36	0.03	-																

注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感冒	0	男	2007/10/02	糞便 鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
肝機能障害	0	女	2007/10/08	糞便	コクサッキーウイルスB5型
不明熱	0	女	2007/10/11	糞便 尿 鼻汁(拭い液)	コクサッキーウイルスB5型

【参考】広島市におけるインフルエンザの流行状況 流行開始からピークまでの期間)

シーズン	流行開始時期 (定点当り1.00人以上となった週)	ピーク		
		ピークとなった週	定点当り 報告数 (人)	流行開始から ピークまでの期間
1999/00	第51週 (12月20日～12月26日)	第4週 (1月24日～1月30日)	50.7人	5週間
2000/01	第7週 (2月12日～2月18日)	第11週 (3月12日～3月18日)	2.8人	4週間
2001/02	第2週 (1月7日～1月13日)	第8週 (2月18日～2月24日)	47.7人	6週間
2002/03	第49週 (12月2日～12月8日)	第3週 (1月13日～1月19日)	36.4人	6週間
2003/04	第3週 (1月12日～1月18日)	第6週 (2月2日～2月8日)	36.2人	3週間
2004/05	第3週 (1月17日～1月23日)	第8週 (2月21日～2月27日)	55.8人	5週間
2005/06	第49週 (12月5日～12月11日)	第4週 (1月23日～1月29日)	51.1人	7週間
2006/07	第3週 (1月15日～1月21日)	第11週 (3月12日～3月18日)	29.0人	8週間
2007/08	第47週 (11月19日～11月25日)			

1999/00シーズンから2006/07シーズンまでの8シーズンの中で、流行開始の目安とされている定点当り1.00人以上となった週からピークとなった週までの期間は、3週間～8週間で、平均すると5.5週間となっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第47週 (11月19日～11月25日)